

自閉症児の親訓練におけるビデオを用いた介入効果の検討

—フィードバックとセルフモニタリングの比較—

○大森五月

加藤哲文

(千葉県発達障害者支援センターCAS)

(上越教育大学臨床・健康教育学系)

KEY WORDS: 親訓練 ビデオ・フィードバック ビデオ・セルフモニタリング

1. 目的

親訓練 (parent training) とは、親に対して行動療法に基づく養育技法の訓練を行い、親がその技法を用いて子どもに養育や療育を行う方法であり (Scheribman, 1988), 自閉症児が療育場面で獲得した技能の般化を促す方法として用いられている。親訓練において、親が訓練場面において獲得した技術について介入の整合性を高い水準に保つことの必要性が述べられている (Knight, 2010)。介入の整合性 (treatment integrity) とは、介入が計画された通りに実行されたかどうかの程度であり (Perterson, Homer, & Wonderlich, 1982), 介入の整合性が高まることで、よい介入結果が得られることが示されている。本研究では、介入の整合性を高水準に保つ方法として、ビデオ・フィードバック (video feedback, 以下 VF とする) と、ビデオ・セルフモニタリング (video self-monitoring, 以下 VSM とする) の効果を比較し、実際の療育の現場に即した方法について検討することを目的とする。

2. 方法

参加者 自閉性障害の疑いのある 5 歳 9 ヶ月 (研究開始時) 男児とその母親を対象とした。

場面 A 県 B 母子通園施設 (以下、B 施設とする) と C 大学内施設 (以下、C 施設とする), 対象児の家庭において、X 年 6 月から 12 月にかけて実施した。

手続き (1) 事前手続き IEP 調査研究会 (1995) を参考にアンケートを作成し、母親に対して記入を依頼し、話し合いの上、標的行動を運筆行動とした。対象児の運筆行動について評定を行い、Smith (2001) を参考に、分離施行法による①環境、②指示、③強化、④プロンプト、⑤間隔の 5 項目からなる指導計画を作成した。指導計画について母親用指導マニュアルを作成し、母親に対して口頭および書面によって説明を実施した。(2) 訓練手続き 親訓練は B 施設または C 施設において週に 1 回の頻度で実施した。訓練内容は、母親から対象児に対して訓練計画に基づく運筆行動の指導を実施し、その映像をもとに、VF または VSM を実施した。VF は研究者が指導計画に基づいたチェックシートに母親の行動の正誤を記して伝え、VSM は母親自身がチェックシートの記入を行った。VF と VSM の実施は 10 分程度に統一して実施した。家庭においては、週に 1~3 回、母親から対象児に対して指導を実施した。(3) 研究デザイン 図形課題と文字課題について、ベースライン期 (以下 BL 期とする)、介入条件 I 期 (VF 条件)、介入条件 II 期 (VSM 条件) の導入の時期をずらして実施する課題間多層ベースラインデザインを採用した。

観察測度 (1) 母親の訓練場面と家庭場面における介入の整合性および対象児の自立遂行率 (対象児が母親のプロンプトなしに正確に運筆できた割合) と (2) 対象児の文字模写課題評価点の推移 (研究とは無関係の大学院生 10 名により採点を実施した) を測定した。尚、家庭場面における記録は、母親に、三脚を用いたビデオ撮影を依頼した。**倫理的配慮** 本研究は、上越教育大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

3. 結果と考察

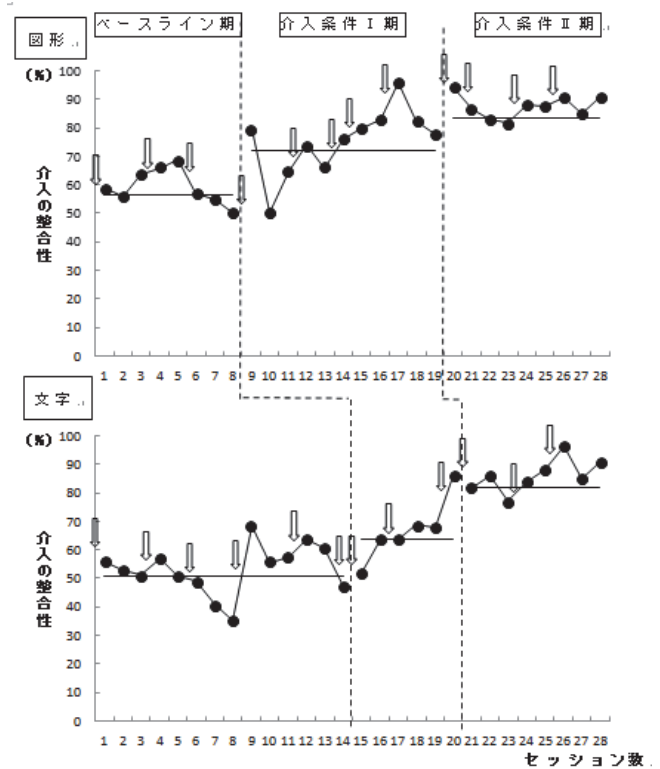


Figure 1. 家庭場面における母親の介入の整合性の推移

BL 期と比較して、介入条件 I 期と介入条件 II 期において介入の整合性が高くなり、家庭場面においてもその維持が見られた。特に、介入条件 II 期における家庭場面での介入の整合性は高水準に保たれていた。一方で、指導計画の下位項目については、介入条件 I 期の方が訓練場面及び家庭場面における介入の整合性が高いものが見られた。対象児の運筆行動について、自立遂行率は介入条件 II 期で最も高くなっており、文字模写課題についても、介入条件 II 期後で最も正確性や筆圧が向上していた。これらのことから、本研究における親訓練について、VF と比較して VSM が母親の介入の整合性を高め、家庭場面への維持に効果的であり、それに伴い、対象児の行動変容への効果が示された。その一方で、VF と VSM が介入の整合性の般化・維持のどのような点に対して効果的であるのかについては、さらなる検討が必要であるだろう。また、今後は、自閉症児の療育の現状に即した、母親の養育におけるセルフ・マネジメント手続きを、より効果的・効率的に行っていくための方法を検討していく必要があるだろう。

主要引用文献

Knight, D. (2010). *Improving Parent Implementation of Discrete Trial Teaching Using Video Self-monitoring*. The New England Center for Children. Boston : Northeastern University Press.
(OOMORI Satsuki, KATO Tetsubumi)